

# ゴマ加工品の生産管理技術の普及・実証事業 株式会社わだまんサイエンス(京都府)

## パラグアイ国の開発ニーズ

- 農作物を主要産業とするため、生産状況と国際価格に左右される経済の改善
- ゴマ生産を担う小規模農家の生計向上
- 食品加工技術の向上(原料としての農産物の高付加価値化)

## 普及・実証事業の内容

- パラグアイのゴマ生産者をはじめとする関係者へのゴマ加工および加工食品生産技術の移転
- パラグアイの嗜好に合わせたゴマ加工食品の共同開発およびゴマ加工品の普及
- ビジネス展開計画の策定

## 提案企業の技術・製品



—ゴマ製品の加工技術  
ゴマの杵つき、機能性食品の研究・開発等

—ゴマ製品の販路作成  
マーケティング方法、他業種・ゴマ関係者との連携

## 事業概要

相手国実施機関:  
国立アスンシオン大学農学部、  
ラ・ノルテーニャ農協  
事業期間:2016年1月~2018年2月  
事業サイト:アスンシオン、サンペドロ

## パラグアイ国側に見込まれる成果

- 現在の原料としての生ゴマの輸出だけでなく、ゴマの輸出先の多様化
- ゴマを消費しないパラグアイ国内における市場の開拓
- 加工ゴマ製品開発によるゴマ高付加価値化の可能性実証

## 日本企業側の成果

### 現状

- 主に日本国内にて輸入生ゴマの商品開発・加工・販売を行っている

### 今後

- 現地企業が生産するゴマ油を扱う卸売業を検討中
- 販売候補先は、日本国内企業やパラグアイ国内のレストラン
- 将来的に日本やパラグアイ以外の第3国への展開を計画